

令和7年度管内概要

北海道森林管理局

十勝東部森林管理署

〒089-3703

北海道足寄郡足寄町北3条2丁目3-1

TEL 0156-25-3161



オンネトーより雌阿寒岳・阿寒富士を望む

【沿革】

明治23年		内務省所管
明治41年	5月	釧路営林区署河西分署の所管に入る
大正8年	4月	釧路営林区署陸別分署として開設
昭和3年	6月	官制改正により陸別営林区署を設置
昭和16年1	2月	陸別営林区署から分割し足寄営林区署を設置
昭和22年	5月	林政統一により足寄営林署と改称、また本別営林署が開設
平成7年	3月	本別営林署の統合・改組に伴い本別沢、仙美里地区が移管
平成11年	3月	十勝東部森林管理署と名称変更
平成13年	8月	区域の整序のため東大雪支署より芽登地区が移管
平成16年	4月	事務所等の統廃合により陸別事務所を本署に統合
平成25年	4月	国有林野事業特別会計から一般会計に移行

管内の町の概要

町名	町の面積 (ha)	森林面積 (ha)	国有林面積 (ha)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数 (戸)	町の木	町の花	町の鳥
足寄町	140,804	115,854 82%	79,125 68%	5,857	2,894 49%	2,963 51%	3,180	アカエゾマツ	エゾムラサキツツジ	エゾライチョウ
陸別町	60,890	50,308 83%	39,117 78%	2,090	1,047 50%	1,043 50%	1,247	シラカバ	フクジュソウ	カッコウ
本別町	39,191	21,486 55%	10,055 47%	5,912	2,885 49%	3,027 51%	3,238	カシワ	エゾムラサキツツジ	アカゲラ
池田町	37,179	22,531 61%	0 0%	5,872	2,781 47%	3,091 53%	3,219	サクラ カシワ	ツツジ	—
浦幌町	72,985	54,082 74%	0 0%	4,047	1,991 49%	2,056 51%	2,151	ナナカマド	ハマナス	アオサギ
計	351,049	264,261 75%	128,297 49%	23,778	11,598 49%	12,180 51%	13,035			

注1：総面積は、「第132回 北海道統計書（令和7年）」（令和7年3月 北海道総合政策部）による。

注2：森林面積は、「令和5年 北海道林業統計資料」（令和7年3月 北海道林務水産部）による。

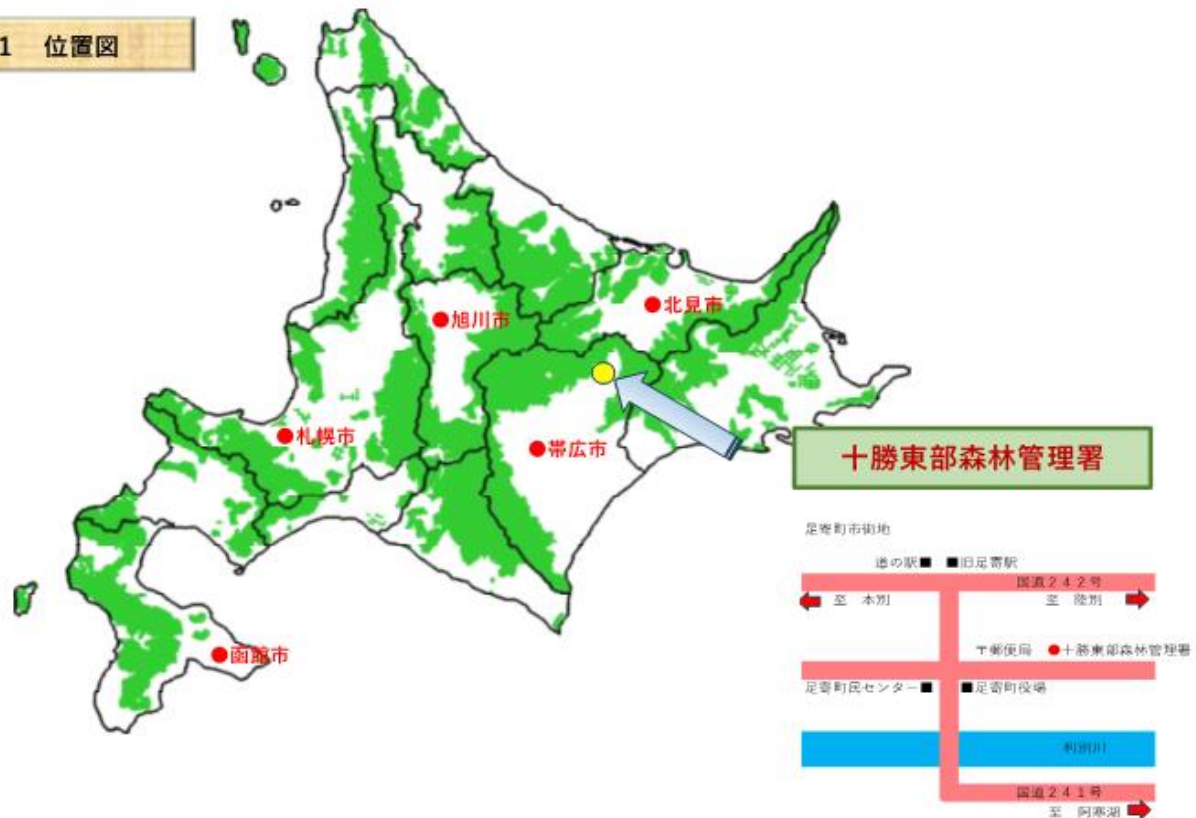
注3：国有林面積には、林野庁所管の国有林野面積を計上。

注4：人口世帯数は、各町のホームページ等より（令和6年4月現在）

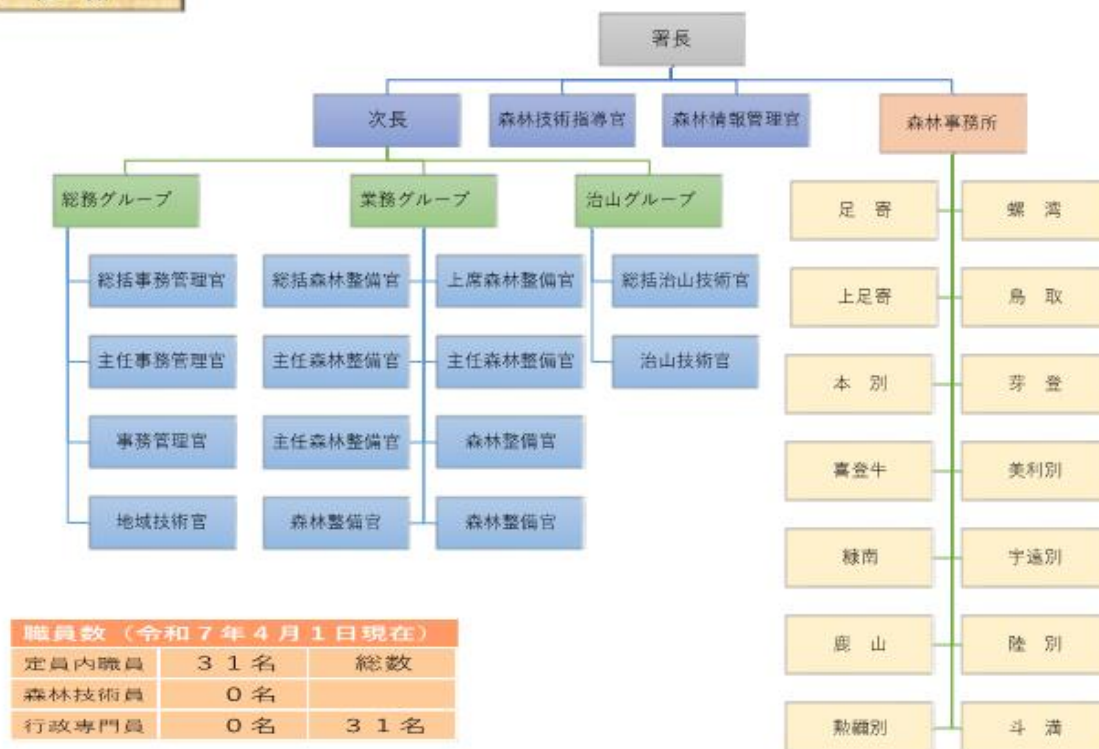
森林事務所所在地

名 称（森林事務所）	所在地	電話番号	管理面積(ha)
あしよろ 足寄	足寄郡足寄町北3条2丁目3-1	0156-25-2426	5,650
らわん 螺湾		0156-25-8373	10,404
かみあしよろ 上足寄			12,819
とっとり 鳥取			11,576
ほんべつ 本別	中川郡本別町南3丁目16	0156-22-4309	10,136
めとう 芽登	足寄郡足寄町芽登本町243	0156-26-2131	4,056
ぬかなん 糠南			9,903
きと 喜登牛		0156-26-2302	13,406
びりべつ 美利別			11,175
うえんべつ 宇遠別	足寄郡陸別町陸別基線318	0156-27-2876	7,381
りくべつ 陸別		0156-27-2039	8,026
かやま 鹿山		0156-27-2876	6,600
くねべつ 敷根別		0156-27-2039	6,778
とまむ 斗満			10,387
計			128,297

1 位置図

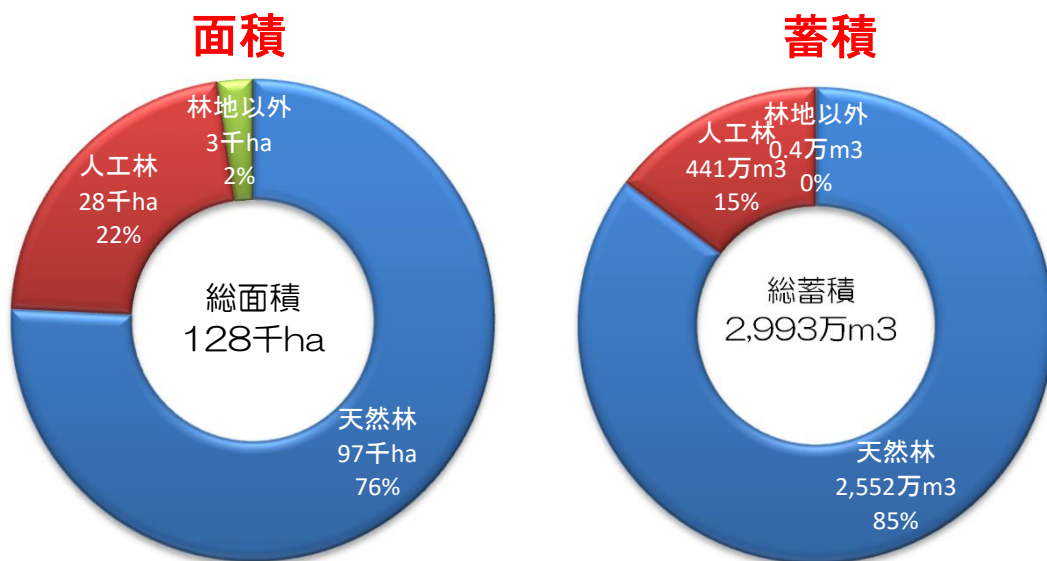


2 組織



3 森林の現況

森林の現況は、76%が天然林となっており、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹に、ミズナラ、シナノキ、カンバ等の広葉樹を交えた森林が大部分を占めています。また、人工林については、トドマツ、アカエゾマツ、カラマツが主要な樹種となっています。



大型機械による地拵作業実施状況

4 機能類型に応じた管理経営

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、森林の働きを「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」「水源涵養」の5つのタイプに分類し、各機能の発揮を目的とした管理経営を行っています。

なお、当署には、「快適環境形成タイプ」の機能類型に区分する森林はありません。

山地災害防止タイプ: 8, 316ha

■土砂流出・崩壊防備エリア

土砂の流出、崩壊等山地災害による人命・施設の被害の防備を目的

■気象害防備エリア

風害、飛砂、潮害、濃霧等の気象害による居住・産業活動に係る環境の悪化の防備を目的

自然維持タイプ: 5, 168ha

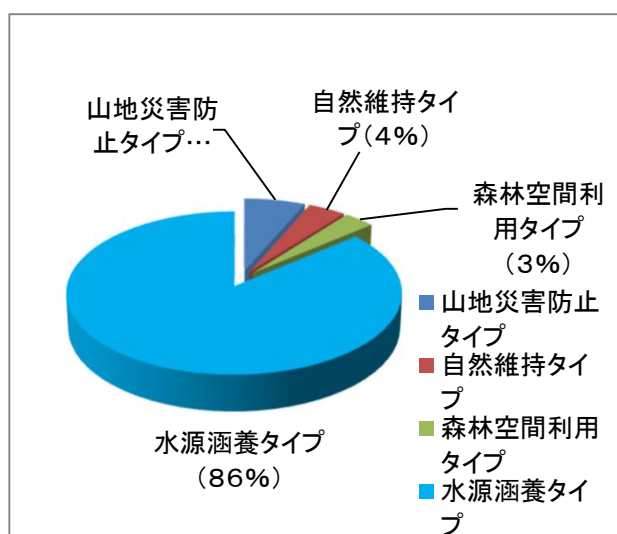
原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林

森林空間利用タイプ: 4, 250ha

保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林

水源涵養タイプ: 110, 563ha

良質な水の安定供給など水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林



水源涵養タイプのトドマツ人工林

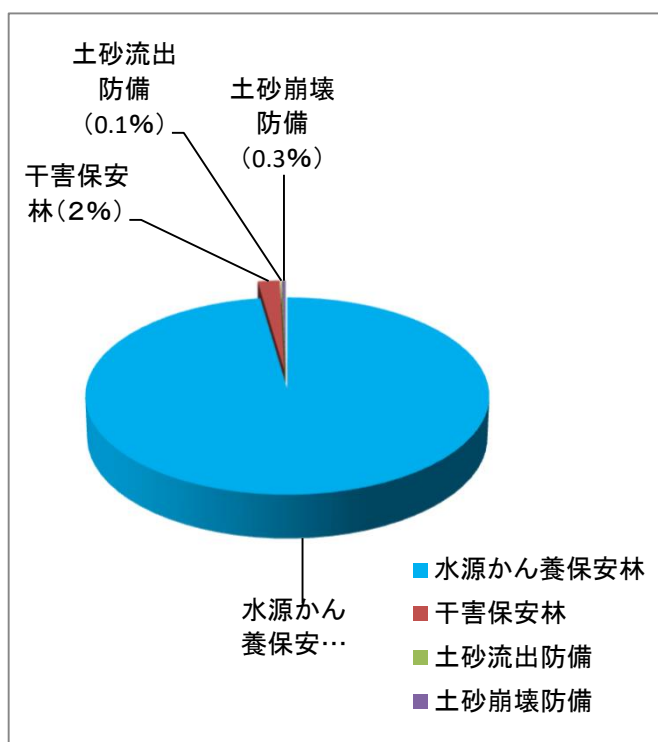
5 保安林について

森林は、木材を供給するだけでなく、水の源となり、災害を防ぎ、そして私たちの心にやすらぎや潤いを与えてくれるなどの大切な働きをしています。こうした森林の中で、私たちの暮らしを守るために特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定しその働きが失われないように伐採を制限したり、適切に手を加えるなど、期待される働きを維持できるように必要な管理を行っています。

主な保安林は、豊かできれいな水を育むための水源かん養保安林、洪水、渇水を防止し、または各種用水を確保するための干害防備保安林などがあり、地域産業の振興、環境の保全形成にも貢献しています。

また、これらの保安林に、特定動物生息地、植物群落保護林27百haを設定しております。

		(管内国有林面積比)
■水源かん養保安林	(121,660ha)	97.7%
■土砂流出防備保安林	(126ha)	0.1%
■土砂崩壊防備保安林	(349ha)	0.3%
■干害防備保安林	(2,380ha)	1.9%
■保健保安林（水源涵養・土砂崩壊防備保安林との重複指定）	(4,780ha)	



水源かん養保安林
(アカエゾマツ純林)

6 レクリエーションの森

森林の中での休養やスポーツ、自然の観察や探勝、学習のため森林の特性を生かしたレクリエーションの森を設定し、多くの人々が緑に接し、やすらぎや快適なレクリエーションを味わえるよう、施設の管理・整備等を行っています。



雌阿寒オンネトー自然休養林



オンネトー湯の滝



本別公園



宮の森風景林での森林教室

名 称		面積 (ha)
雌阿寒オンネトー自然休養林	〔足寄町〕	1,217
雌阿寒風景林	〔足寄町〕	2,313
義経山風景林	〔本別町〕	458
宮の森風景林	〔陸別町〕	85

7 令和7年度 主要事業量

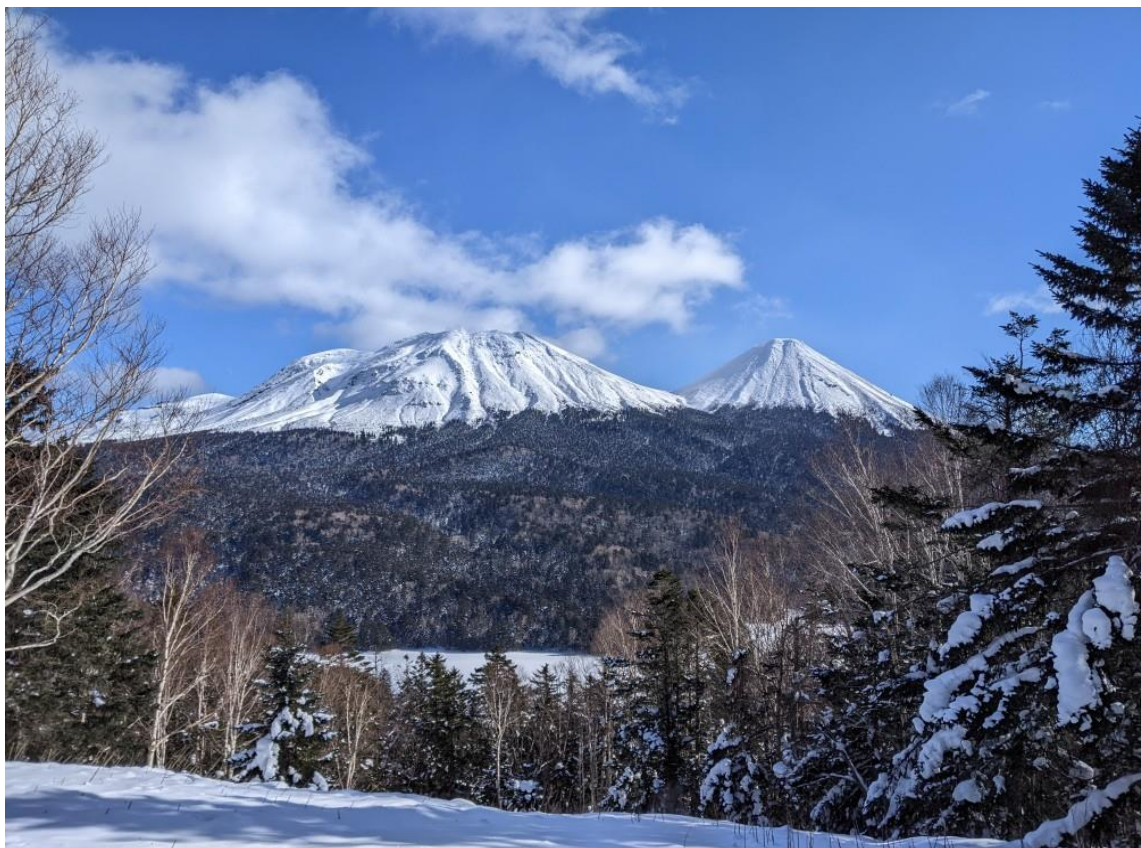
区 分		単位	予定数量	備 考
販売量	立木販売	m3	56,500	
	製品販売	m3	69,600	
造林	更新	ha	143	
	保育	ha	154	
林道	新設	m	1,600	
治山事業		百万円	190	

注1: 造林の更新は、新植、改植、天I類を計上

注2: 造林の保育は、下刈、つる切、除伐、除伐2類を計上

注3: 造林の保育面積には、治山費による実行分を含む

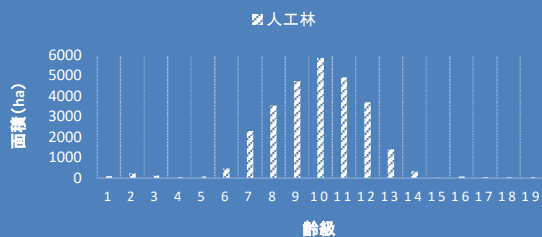
注4: 事業量は前年度繰越分を含む



オンネット展望台より雌阿寒岳・阿寒富士を望む

造林作業の省力化・軽労化に向けた取り組みを推進

管内における人工林の齢級別面積



十勝東部森林管理署管内では、昭和30年代から40年代にかけて植栽された人工林が多く、高齢級化に伴い伐採面積及び更新量が増加しています。

このような中、「新しい林業」の実現に向け、地拵え、植付、下刈りなど「造林作業の省力化」や「主伐から再造林までを一括した契約の推進」の取組を進めています。

造林コストの縮減と造林作業の省力化



事業実行林業事業体と当署職員との検討会

これまでの取組結果を踏まえ、造林作業の省力化・軽労化に取り組めます。

- 1 下刈作業の機械化に向け、現地に適した使用機械の検証・検討。
- 2 伐根処理や下刈作業方法など効率的な造林作業の省力化スタイルの確立に向け、関係機関と一丸となって取組を進めていきます。



リモコン草刈機



多目的造林機械

天然力を活用した多様な森林づくり

伐採から植栽等の計画にあたり、傾斜地で大型機械による地拵えに適さない場所や広葉樹の成長が旺盛なところでは、主伐ではなく間伐を実施するなど、天然力を活用した作業を行うことを検討しています。

今年度も「造林作業の省力化」「大型機械による地拵作業」等現地検討会の機会を通じて、現場でしっかり議論し、当署ならではの「多様な森林づくり」を推進します。

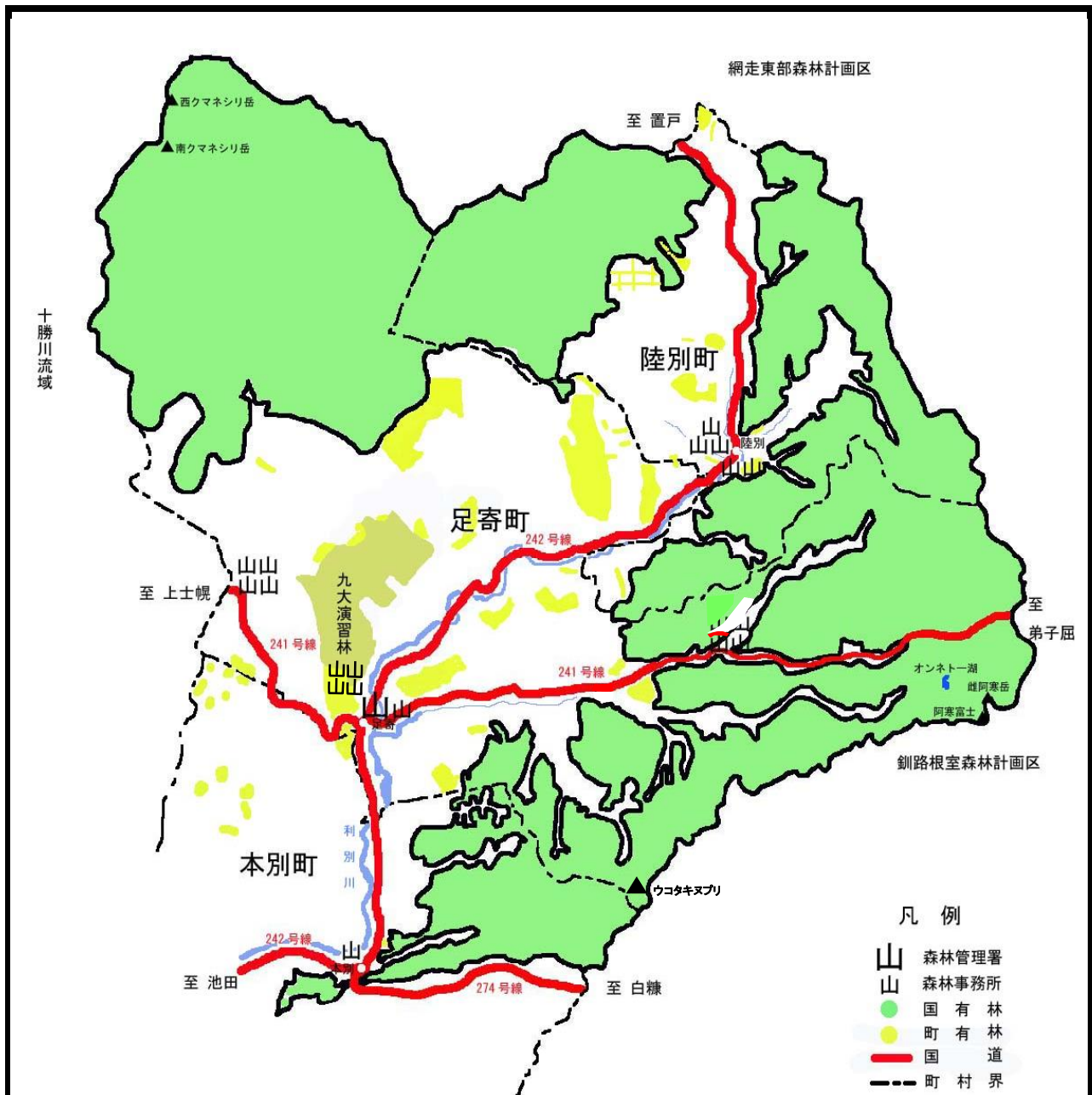


林業事業体との検討会



多様な森林づくりを目指す主伐期の人工

十勝東部森林管理署位置図



当署管内は、十勝の北東部に位置し、中央を利別川が南流し十勝川に合流する。

北部は網走東部森林計画区に接し、西部は西クマネシリ岳、南クマネシリ岳等標高1,500 mを超える山岳によって十勝川流域に接し、東部は雌阿寒岳、阿寒富士等の阿寒山系から成る分水嶺によって釧路根室森林計画区と接している。

雌阿寒岳、オンネトー周辺の国有林野は、阿寒摩周国立公園となっており、トドマツ、アカエゾマツ主体の針葉樹林が広がり、中にはアカエゾマツの純林も見られる。

また、希少野生動物であるシマフクロウの生息が確認されている地域もある。